

2018 年度 東京 2020 大会等に関する
三鷹市事業実施方針・事業概要

平成 30 年（2018 年）8 月

三鷹市

目次

I 基本的な考え方

- 1 事業実施方針・事業概要の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 3
- 2 実施方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 3
- 3 2018年度事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 4

II 3つの基本目標を実現する具体的な取り組み・・・・・・・・ P. 6

基本目標1 誰もがスポーツと触れ合い、元気にいきいきと

暮らせるまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 6

- (1) SUBARU総合スポーツセンターにおけるスポーツ活動の促進による健康づくりの推進
- (2) 東京2020オリンピック・パラリンピック等の気運醸成事業の積極的な推進
- (3) 東京2020大会等の事前キャンプ誘致による、海外代表選手との交流の機会等の創出
- (4) 三鷹ゆかりのトップアスリート支援及び市民へのPR
- (5) 聖火リレー実施に向けた東京都・組織委員会との連携
- (6) JR三鷹駅から東京2020大会等会場へのシャトルバス運行実現に向けた取り組み

基本目標2 三鷹の資源を生かした、安全で安心して観光できる環境づくり・・・・ P. 8

- (1) 東京2020大会等のPR・三鷹の魅力発信
- (2) 外国人を含む観光客の受け入れ環境の向上に向けた更なる観光振興施策の推進
- (3) 外国人観光を促進するための案内・誘導サインの多言語化
- (4) 東京2020大会等会場周辺の自転車走行空間の整備
- (5) ボランティア人財の育成・支援

基本目標3 オリンピック・パラリンピック教育を通じた人財育成と、

多様な文化を理解しあう地域づくり・・・・・・・・ P. 10

- (1) オリンピック・パラリンピック教育の推進
- (2) 「文化の薫り高い三鷹」をめざした多彩な文化プログラムの推進
- (3) 障がい者スポーツを通じた障がい者への理解の促進
- (4) 基礎自治体としての平和・人権・国際交流の推進

III 大会までのロードマップ・・・・・・・・ P. 12

IV 推進体制・・・・・・・・ P. 14

I 基本的な考え方

1 事業実施方針・事業概要の位置づけ

「2018年度 東京2020大会等に関する三鷹市事業実施方針・事業概要」（以下「事業実施方針・事業概要」という。）は、「第4次三鷹市基本計画（第1次改定）」、「三鷹市スポーツ推進計画2022」等の三鷹市の関連計画、「平成30年度三鷹市施政方針」を踏まえ、「2020年」に向けた三鷹市の基本方針（以下「基本方針」という。）における3つの基本目標ごとに、事業等を一覧できるように定めたものです。

なお、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、ラグビーワールドカップ2019組織委員会、国、東京都等の関係機関の定める計画等とも整合を図っています。

2 実施方針

2018年度は、ラグビーワールドカップ2019の前年度であり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）の前々年度にあたります。ラグビーワールドカップ2019は、9月には大会1年前を迎え、11月には日本代表とニュージーランド代表のテストマッチが開催されます。東京2020大会については、7月に2年前イベント、2019年3月に500日前イベントが予定されるほか、ボランティア募集、聖火リレーのルートの検討等大会開催準備に向けた取り組みが本格化します。

については、下記の3つを柱に2018年度の取り組みを進めます。

(1) 「事業実施方針・事業概要」の作成と地域連携組織設置による地域と一体となった取り組みの推進

三鷹市では、2018年度市民との協働により関連事業を推進するため、東京2020大会等とその後を見据えた「事業実施方針・事業概要」を作成し、地域との連携組織を立ち上げて取り組みを進めます。

(2) 気運醸成事業の積極的な推進、海外代表選手と市民との交流機会等の実現に向けた取り組み

市ホームページによる広報、市主催事業等におけるブース展示による東京2020大会PR及び三鷹の魅力発信を進め、トップアスリートによる水泳・バレーボール教室のほか、タグラグビー教室の開催、三鷹ゆかりのアスリート応援事業等気運醸成事業を積極的に進めます。

さらに、来年度に向けてラグビーワールドカップ2019出場海外代表チームと市民との交流の実現、東京2020大会の事前キャンプ誘致による市民との交流の実現に向けて準備を進めます。

(3) 東京都、組織委員会との緊密な連携

聖火リレーのルート選定、都市ボランティア自治体推薦枠の募集及び参画プログラムの活用等については、市民との協働により実施するとともに、東京都、組織委員会と連携し進めます。

3 2018年度事業一覧

基本目標 1	<p>誰もがスポーツと触れ合い、元気にいきいきと暮らせるまちづくり</p> <p>(1) SUBARU総合スポーツセンターにおけるスポーツ活動の促進による健康づくりの推進</p> <p>(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック等の気運醸成事業の積極的な推進</p> <p>(3) 東京2020大会等の事前キャンプ誘致による、海外代表選手との交流の機会等の創出</p> <p>(4) 三鷹ゆかりのトップアスリート支援及び市民へのPR</p> <p>(5) 聖火リレー実施に向けた東京都・組織委員会との連携</p> <p>(6) JR三鷹駅から東京2020大会等会場へのシャトルバス運行実現に向けた取り組み</p>
基本目標 2	<p>三鷹の資源を生かした、安全で安心して観光できる環境づくり</p> <p>(1) 東京2020大会等のPR・三鷹の魅力発信</p> <p>(2) 外国人を含む観光客の受け入れ環境の向上に向けた更なる観光振興施策の推進</p> <p>(3) 外国人観光を促進するための案内・誘導サインの多言語化</p> <p>(4) 東京2020大会等会場周辺の自転車走行空間の整備</p> <p>(5) ボランティア人財の育成・支援</p>
基本目標 3	<p>オリンピック・パラリンピック教育を通じた人財育成と、多様な文化を理解しあう地域づくり</p> <p>(1) オリンピック・パラリンピック教育の推進</p> <p>(2) 「文化の薫り高い三鷹」をめざした多彩な文化プログラムの推進</p> <p>(3) 障がい者スポーツを通じた障がい者への理解の促進</p> <p>(4) 基礎自治体としての平和・人権・国際交流の推進</p>

主な事業等
① スポーツ教室の拡充 ② 健康・体力相談事業の充実
① オリンピアン・パラリンピアン招聘事業（オリンピックによるバレーボール教室／パラリンピアンによる水泳教室） ② ラグビーに触れる機会の提供（タグラグビー教室等の開催） ③ 幅広いスポーツ機会の提供（車いすバスケットボール体験会の開催／乗馬による体力向上プログラムの実施）
① ラグビーワールドカップ2019出場海外代表チームとの交流に向けた取り組み ② 東京2020大会事前キャンプの誘致及び海外代表チームとの交流に向けた取り組み
① 三鷹ゆかりのトップアスリート支援に関する要綱の策定 ② 市HPにおける三鷹ゆかりのトップアスリート紹介ページの作成
① 聖火リレー希望ルートの検討・回答
① 東京都・組織委員会への働きかけの強化

① 「東京2020参画プログラム」の活用による大会PR・三鷹の魅力発信 ② 市主催事業等における東京2020大会PR及び三鷹の魅力発信 ③ 市ホームページの充実による積極的な情報発信
① 多言語による観光マップ（ベーシック英語・中国語、和食ハングル、おもてなし第2弾）の作成（20,000部）
① 歴史・文化・自然案内板（広域案内板11箇所） ② 三鷹駅前デッキ案内板（バス・タクシー乗り場案内標識等21箇所） ③ 公共施設案内標識（三鷹駅周辺21箇所） ④ 道路愛称名標識（三鷹駅周辺51箇所）
① 大沢グラウンド通り等における自転車走行空間の整備
① 都市ボランティア自治体推薦枠の募集と（公財）三鷹市スポーツと文化財団と連携したスポーツボランティア養成のための講座等の開催 ② （公財）三鷹国際交流協会と連携した「おもてなし語学ボランティア講座」等の開催 ③ 中学生等も参加できるボランティア機会の拡充 ④ スポーツボランティアの活躍の機会創出に向けた取り組み

① オリンピック・パラリンピック教育、一校一取組、一学級一実践運動等の実施 ② オリンピック・パラリンピックアワード校事業の実施（第七中学校） ③ パラリンピック競技応援校事業の実施（第四中学校「車いすバスケットボール」） ④ タグラグビー教室の開催（再掲） ⑤ 車いすバスケットボール体験会の開催（再掲）
① 市民文化祭の積極的な情報発信と外国人を含む来場者との文化交流の推進 ② 大沢の里古民家（仮称）の開館を契機とした大沢の里の積極的な情報発信
① パラリンピアンによる水泳教室の開催（再掲） ② ポッチャ教室の開催 ③ 障がい児サッカー教室の開催 ④ パラリンピック選手発掘プログラムへの協力 ⑤ 車いすバスケットボール体験会の開催（再掲）
① みたかデジタル平和資料館の充実 ② 人権尊重の視点に立った講座の開催 ③ 外国語版生活ガイドの更新 ④ 国際交流、観光分野の自治体広域連携事業の取り組み

Ⅱ 3つの基本目標を実現する具体的な取り組み

基本目標 1

誰もがスポーツと触れ合い、元気にいきいきと暮らせるまちづくり

- ・スポーツ活動の促進による健康づくりの推進
- ・スポーツ活動を通じたコミュニティの創生
- ・誰もが東京 2020 大会等に参加できる環境づくり

1 目指す未来像・レガシー

東京 2020 大会等をきっかけに、スポーツを通じた市民同士の交流の深化による「コミュニティ創生」や、高齢者、障がい者を含めたすべての市民の生活の中で、スポーツを取り入れる習慣が定着することで、住み慣れた地域でいつまでも元気にいきいきと暮らすことができる「健康長寿社会」の実現をめざします。

2 2018 年度の具体的な取り組み

(1) SUBARU総合スポーツセンターにおけるスポーツ活動の促進による健康づくりの推進

市民の健康・スポーツの拠点として、指定管理者である（公財）三鷹市スポーツと文化財団を中心に民間事業者や関係団体等と連携を図りながら、市民の多様なニーズに応じたスポーツ教室やイベント等を実施します。

また、トレーニング室で実施している健康・体力相談事業について予約状況を勘案し、相談時間を拡充して実施します。

[主な事業等]

- ①スポーツ教室の拡充
- ②健康・体力相談事業の充実

(2) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック等の気運醸成事業の積極的な推進

「基本方針」に基づき、東京 2020 大会及びラグビーワールドカップ 2019 に向けて、トップアスリートによる水泳・バレーボール教室のほか、タグラグビー教室の開催、三鷹ゆかりのアスリート応援事業等気運醸成事業を積極的に推進します。

[主な事業等]

- ①オリンピック・パラリンピアン招聘事業（オリンピックによるバレーボール教室／パラリンピアンによる水泳教室）
- ②ラグビーに触れる機会の提供（タグラグビー教室等の開催）
- ③幅広いスポーツ体験機会の提供（車いすバスケットボール体験会の開催／乗馬による体力向上プログラムの実施）

(3) 東京 2020 大会等の事前キャンプ誘致による、海外代表選手との交流機会等の創出

東京 2020 大会等の事前キャンプの誘致や、関連する国際大会等で海外代表チームが来日する機会等を捉え、市民との交流の機会をより多く創出できるよう積極的に取り組みます。

[主な事業等]

- ①ラグビーワールドカップ 2019 出場海外代表チームとの交流に向けた取り組み
- ②東京 2020 大会事前キャンプの誘致及び海外代表チームとの交流に向けた取り組み

(4) 三鷹ゆかりのトップアスリート支援及び市民へのPR

東京 2020 大会への出場が期待される三鷹ゆかりのトップアスリートを支援するため、SUBARU総合スポーツセンターを練習の場として最大限利用できるよう取り組みます。また、市ホームページや市主催イベント等で、選手のプロフィール、国際大会等での活躍を紹介し、市民が一体となって応援できるよう取り組みます。

[主な事業等]

- ①三鷹ゆかりのトップアスリート支援に関する要綱の策定
- ②市ホームページにおける三鷹ゆかりのトップアスリート紹介ページの作成

(5) 聖火リレー実施に向けた東京都・組織委員会との連携

2019年のルート決定、ランナー選考等に向けて、市民が一体となった聖火リレーとなるよう、市民との協働により東京都・組織委員会と連携し取り組みます。

[主な事業等]

- ①聖火リレー希望ルートの検討・回答

(6) JR三鷹駅から東京 2020 大会等会場へのシャトルバス運行実現に向けた取り組み

東京 2020 大会等を契機に多くの人々が三鷹市を訪れ、その魅力に触れ、市民との交流が創出されるよう、多摩地域での競技会場となる「東京スタジアム」及び「武蔵野の森総合スポーツプラザ」へのJR三鷹駅からのシャトルバス運行の実現に向けて、引き続き東京都・組織委員会に働きかけます。

[主な事業等]

- ①東京都・組織委員会への働きかけの強化

基本目標 2

三鷹の資源を生かした、安全で安心して観光できる環境づくり

- ・全世界に向けた三鷹の情報発信
- ・観光客にやさしいまちづくりの推進
- ・外国人観光客、留学生と市民との交流支援

1 目指す未来像・レガシー

外国人、日本人や留学生の家族といった多くの観光客が、大会終了後もリピーターとして訪れることによる「地域活性化」をめざします。また、東京 2020 大会等を契機に案内標識等の再整備により、案内誘導を適切に行えるようにするほか、「都市ボランティア」として活動した方が自主的に継続して活動できる環境をつくることで、まちの活力やにぎわいをもたらします。

2 2018 年度の具体的な取り組み

(1) 東京 2020 大会等の PR・三鷹の魅力発信

東京 2020 公認マークを使用することで、東京 2020 大会とのつながりを生み出し、組織委員会ホームページから全国への情報発信を通じて、地域や団体の情報を広く PR することができる「東京 2020 参画プログラム」を積極的に活用します。

また、市主催事業を中心に、東京 2020 大会及び三鷹の魅力を発信する PR ブースを出展します。なお、出展にあたっては、若手職員の協働のまちづくりの実践の機会と捉え人財育成の視点も含め庁内チームを設置し取り組みます。

さらに、市ホームページを充実し積極的に情報を発信します。

[主な事業等]

① 「東京 2020 参画プログラム」の活用※1による大会 PR・三鷹の魅力発信

※1「参画プログラム」は、市民体育祭、市民文化祭等を予定しています。

② 市主催事業等における東京 2020 大会 PR 及び三鷹の魅力発信※2

※2 市主催事業等としては、敬老のつどい/国際交流フェスティバル/スポーツフェスティバル/市民文化祭/農業祭/市民駅伝大会/成人のつどい/M-マルシェ等を予定しています。

③ 市ホームページの充実による積極的な情報発信

(2) 外国人を含む観光客の受け入れ環境の向上に向けた更なる観光振興施策の推進

三鷹を訪れる外国人を含む観光客の受け入れ環境について、外国人観光客向けの多言語による観光マップの作成支援等、庁内関連部署、みたか都市観光協会等の関連団体や市民と連携を図りながら推進します。

また、おもてなしの気運醸成のため、商店主等の意識向上に向けた取り組み等を推進します。

[主な事業等]

① 多言語による観光マップ（ベーシック英語・中国語、和食ハングル、おもてなし第 2 弾）の作成（20,000 部）

(3) 外国人観光を促進するための案内・誘導サインの多言語化

東京 2020 大会等を見据え、三鷹市を訪れる外国人を含む誰もが観光しやすい魅力的なまちづくりを推進するため、2016、2017 年度に引き続き、「国内外旅行者のためのわかりやすい案内サイン標準化指針（東京都）」等を踏まえた案内・誘導サインの多言語化を図ります。

〔主な事業等〕

- ①歴史・文化・自然案内板（広域案内板 11 箇所）
- ②三鷹駅前デッキ案内板（バス・タクシー乗り場案内標識等 21 箇所）
- ③公共施設案内標識（三鷹駅周辺 21 箇所）
- ④道路愛称名標識（三鷹駅周辺 51 箇所）

(4) 東京 2020 大会等会場周辺の自転車走行空間の整備

東京 2020 大会を契機として、大会会場の周辺において自転車がより安全に回遊でき、都道、市道等との自転車走行空間を連続させネットワーク化を図るため、大沢グラウンド通りに自転車専用通行帯等を設置します。歩行者、自転車、自動車とともに安全で安心して通行できる道路空間を創出します。

〔主な事業等〕

- ①大沢グラウンド通り等における自転車走行空間の整備

(5) ボランティア人財の育成・支援

多くの市民が「都市ボランティア」に応募するよう情報提供等、積極的に取り組むとともに、「都市ボランティア」として活動された方が、三鷹のまちづくりに継続的に活躍できる環境づくりに取り組みます。

〔主な事業等〕

- ①都市ボランティア自治体推薦枠の募集と（公財）三鷹市スポーツと文化財団と連携したスポーツボランティア養成のための講座等の開催
- ②（公財）三鷹国際交流協会と連携した「おもてなし語学ボランティア講座」等の開催
- ③中学生等も参加できるボランティア機会の拡充
- ④スポーツボランティアの活躍の機会創出に向けた取り組み

基本目標 3

オリンピック・パラリンピック教育を通じた人財育成と、多様な文化を理解しあう地域づくり

- ・ 多彩な文化プログラムの推進
- ・ 障がい者への理解の促進
- ・ 平和・人権・国際理解教育の推進

1 目指す未来像・レガシー

東京 2020 大会を契機に実施する多様な文化プログラムを経て、多様性を尊重する意識と国際交流の推進をめざします。また、オリンピック・パラリンピック教育を推進し、一人ひとりの心と体に人生の糧となる貴重な体験を通じることで、次代を担うすべての子どもたちの人財育成をめざします。

2 2018 年度の具体的な取り組み

(1) オリンピック・パラリンピック教育の推進

全市立小・中学校において、「4つのテーマ（オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境）」と「4つのアクション（学ぶ、観る、体験・交流する、支える）」を組み合わせた多様な教育プログラムを実施します。

〔主な事業等〕

- ①オリンピック・パラリンピック教育、一校一取組、一学級一実践運動等の実施
- ②オリンピック・パラリンピックアワード校事業の実施（第七中学校）
- ③パラリンピック競技応援校事業の実施（第四中学校「車いすバスケットボール」）
- ④タグラグビー教室の開催（再掲）
- ⑤車いすバスケットボール体験会の開催（再掲）

(2) 「文化の薫り高い三鷹」をめざした多彩な文化プログラムの推進

東京 2020 大会は、スポーツだけでなく「文化の祭典」でもあります。市民文化祭の開催や 11 月に一般公開される大沢の里古民家（仮称）の開館記念式典を契機として、オリンピック・パラリンピックとつながり、組織委員会ホームページから情報発信をすることができる「東京 2020 参画プログラム」における文化プログラムの認証を受けることで、市内外に三鷹の魅力を伝えます。

また、オリンピック・パラリンピックの気運醸成の中で、三鷹の森ジブリ美術館（三鷹市立アニメーション美術館）との連携により、「文化の薫り高い三鷹」のまちづくりをめざします。

〔主な事業等〕

- ①市民文化祭の積極的な情報発信と外国人を含む来場者との文化交流の推進
- ②大沢の里古民家（仮称）の開館を契機とした大沢の里の積極的な情報発信

(3) 障がい者スポーツを通じた障がい者への理解の促進

障がい者スポーツの体験・観戦、ボランティアの育成等を通じて、障がいのあ
る人もない人も互いに尊重し、支えあう地域社会が実現するよう、障がい者への
理解促進と心のバリアフリー、情報のバリアフリーを推進します。

〔主な事業等〕

- ①パラリンピアンによる水泳教室の開催（再掲）
- ②ボッチャ教室の開催
- ③障がい児サッカー教室の開催
- ④パラリンピック選手発掘プログラムへの協力
- ⑤車いすバスケットボール体験会の開催（再掲）

(4) 基礎自治体としての平和・人権・国際交流の推進

オリンピック・パラリンピック競技大会は、世界最大の「平和の祭典」であり、
その開催が、国際的な相互理解や友好関係を増進させます。こうした意義を基礎
自治体である三鷹市として積極的にとらえ、平和・人権・国際交流に関する取り
組みを推進します。

平和に関する取り組みについては、異なる国や文化、歴史等を理解し認め合う
地球市民としての自覚を育む事業や戦争の記憶と平和への願いを次世代に受け継
いでいくための事業を引き続き推進します。また、人権については、性別、国籍、
障がいの有無などに関わらず、全ての人の基本的人権が尊重され、差別を受ける
ことのないよう、広く取り組みを推進します。

国際化については、外国語版生活ガイドの更新、国際交流、観光分野の自治体
広域連携事業の取り組みにより、情報発信、外国人観光等の課題に（公財）三鷹
国際交流協会、みたか都市観光協会等と連携して取り組みます。

〔主な事業等〕

- ①みたかデジタル平和資料館の充実
- ②人権尊重の視点に立った講座の開催
- ③外国語版生活ガイドの更新
- ④国際交流、観光分野の自治体広域連携事業の取り組み

Ⅲ 大会に向けたロードマップ(2019年度まで)						
		2018年度				
		7月	8月	9月	10月	11月
国、東京都等の動向	大会等			★ラグビーW杯 1年前イベント ★東京2020大会2年前イベント	★東京2020大会 大会・都市ボランティア募集開始	★ラグビーW杯 1年前イベント ★テストマッチ
	市ホームページによる情報発信	随時 更新		●充実・検討		
三鷹市の取り組み	市主催事業等における東京2020大会PR及び三鷹の魅力発信			●敬老のつどい ●国際交流フェスティバル	●スポーツフェスティバル	●農業祭 ●市民駅伝大会
	参画プログラムの実施(スポーツ・文化イベント)		●市民体育祭開会式		●スポーツフェスティバル	●市民文化祭 ●大沢の里オープニング
	ラグビーワールドカップ2019出場海外チームとの交流実現に向けた取り組み					●依頼
	東京2020大会等事前キャンプの誘致	●調査			●交渉	
	地域連携組織の設置・開催			●第1回 ●第2回 ●第3回 ●第4回		
	聖火リレー		★東京都からルート意向確認			
	都市ボランティア募集 自治体推薦枠	●自治体枠への準備		★推薦人数決定	●推薦者選定	★一般募集開始
	三鷹ゆかりのトップアスリート支援及び市民へのPR		●ゆかりのアスリートPR(市ホームページ) ●支援要綱等決定			
	気運醸成事業等		●オリンピアンによるバレーボール教室 ●パラリンピアンによる水泳教室 ●乗馬による体力向上プログラム			

凡例 ★国、東京都等の動向 ●三鷹市の取り組み

				2019年度											
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
チ 日本代表vsニュージーランド代表				<p>★ラグビーW杯</p> <p>★東京2020大会500日前イベント</p> <p>★東京2020大会各種テストイベント ・自転車ロードレース</p> <p>★研修受講者決定</p> <p>★聖火リレー 都内ルート(案)選定</p> <p>★申請締切</p> <p>★パブリックビューイング要項公表</p> <p>★メダルプロジェクト終了</p>											
募集終了				★面談・説明会											
★聖火リレー 都内ルート(案)選定				★研修受講者決定											
●成人のつどい				★聖火リレー ルート公表											
●交渉				★申請締切											
●交流確定				★パブリックビューイング要項公表											
●誘致確定				★メダルプロジェクト終了											
●第5回															
★都内ルート(案)選定				★海外ラグビー選手との交流											
★募集終了				★ルート公表											
●推薦者回答				●ランナー公募・選考											
●タグラグビー教室				★研修受講者決定											
●車いすバスケットボール体験会															

IV 推進体制

1 庁内組織

(1) 三鷹市東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等推進本部

(平成 29 年(2017 年) 4 月 1 日設置)

ア 所掌事項

- ・東京 2020 大会等の推進に関する事業等の総合調整に関すること
- ・東京 2020 大会等の開催を契機とした地域の取り組みの促進に関すること
- ・東京 2020 大会等の気運醸成に関すること

イ 構成

本部長	市長
本部長代行	スポーツと文化担当副市長
副本部長	総務部担当副市長、教育長
本部員	市長部局の部長及びこれに相当する職にある者、教育委員会事務局の部長及びこれに相当する職にある者

ウ 事務局

- 事務局長 スポーツと文化部長
- 事務局次長 スポーツ推進課長
- 事務局員 スポーツ推進課職員

(2) 東京 2020 大会等・三鷹の魅力発信推進チーム及びワーキングチームの設置（新規）

ア 推進チーム

(ア) 組織名称（案）

東京 2020 大会等・三鷹の魅力発信推進チーム（仮称）

(イ) 組織の位置づけ

推進本部設置規程第 6 条に規定する推進チーム

(ウ) 所掌事務

- ・東京 2020 大会等・三鷹の魅力発信に関すること

(エ) 構成

広報担当課長、生活経済課長、芸術文化課長、スポーツ推進課長

イ ワーキングチーム

(ア) 組織名称（案）

東京 2020 大会等・三鷹の魅力発信ワーキングチーム（仮称）

(イ) 組織の位置づけ

推進本部設置規程第 6 条に規定する推進チームの所掌事務を実践するワーキングチームとして設置

(ウ) 所掌事務

- ・三鷹市主催事業等におけるブース展示を通じた東京 2020 大会等の PR 及び三鷹の魅力発信
- ・市ホームページや SNS 等を活用した情報発信のあり方の提案

・庁内職員向け情報発信のあり方の提案

(エ) 構成

若手職員（入庁 15 年次目程度まで） 10 人程度

※リーダー、サブリーダーをメンバーから選任し、アドバイザーを生活経済課長、スポーツ推進課長とする。

(オ) 対象イベント

<市主催、後援イベント>

商工まつり／三鷹阿波踊り／敬老のつどい／国際交流フェスティバル
／スポーツフェスティバル／市民文化祭／農業祭／市民駅伝大会／成人のつどい／M-マルシェ等

<広域的なイベント>

- ・府中調布三鷹ラグビーフェスティバル等ラグビー関連イベント
- ・スポーツ博覧会等の東京都オリンピック・パラリンピック関連イベント

2 地域連携組織（新規）

(1) 東京 2020 大会等関連地域連携組織の設置

ア 組織名称（案）

東京 2020 大会等に向けた三鷹地域連携会議（仮称）

イ 組織の位置づけ

新たに要綱を制定のうえ設置する。

ウ 設置の趣旨

三鷹市が実施する関連事業、東京都、組織委員会が市内及び近隣で実施する関連事業及び市民自らが実施する関連事業の推進にあたって、相互の情報共有と連絡調整を図り、協働により事業を推進する。

エ 目的・期待する効果

- ① 小・中学生をはじめとする市民の東京 2020 大会を通じた感動体験の創出
 - ・海外選手と市民の交流及び市民の競技体験の実現と、学校における一校一取組、一学級一実践運動等オリパラ教育との効果的な連携
- ② スポーツを通じた健康増進とボランティアの拡充、障がい者スポーツを通じた障がい者理解の促進
 - ・気運醸成事業及び健康・体力相談事業等を通じたスポーツ実施率の向上
 - ・ボランティアの拡充と活躍の場の創出及びボランティアのネットワークの構築
 - ・障がい者スポーツの体験機会の拡充、障がい者スポーツと障がい者理解の促進
- ③ 「文化の薫り高い三鷹」をめざすまちづくり
 - ・芸術・文化事業の魅力発信による芸術・文化のまちとしてのブランド化
- ④ 外国人を含む市内来訪者にやさしい「おもてなしのまちづくり」
 - ・市内来訪者の満足度の向上及び交流人口の増加

オ 構成

上記の「設置の趣旨」、「目的・期待する効果」を達成するため、下記団体を中心に全体で約 20～25 人により構成する地域連携組織を設置する。

対象分野	例示
小・中学校関係者	P T A 連 合 会 / コ ミ ュ ニ テ ィ ス ク ー ル 委 員 会 等
スポーツ・文化関係者	体 育 協 会 / ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 / 障 がい者団体 / 芸 術 文 化 協 会 等
まちづくり関係者 (観光、交流、ボランティア)	住 民 協 議 会 / 三 鷹 商 工 会 / 三 鷹 市 商 店 会 連 合 会 / 東 京 む さ し 農 業 協 同 組 合 / 三 鷹 青 年 会 議 所 / 市 内 大 学 等
市関連外郭団体等関係者	三 鷹 市 ス ポ ー ツ と 文 化 財 団 / 三 鷹 国 際 交 流 協 会 / 三 鷹 ネットワーク大学推進機構 / み た か 市 民 協 働 ネットワーク / み た か 都 市 観 光 協 会 / 三 鷹 市 社 会 福 祉 協 議 会 / 花 と 緑 の ま ち 三 鷹 創 造 協 会 等
三鷹市職員	東 京 2 0 2 0 オ リ ン ピ ッ ク ・ パ ラ リ ン ピ ッ ク 等 担 当 部 長 / ス ポ ー ツ と 文 化 部 調 整 担 当 部 長 ほか関係部課長

※事務局はスポーツ推進課が担う。

【参考】大会概要

1 ラグビーワールドカップ 2019 (第9回ラグビーワールドカップ)

開催期間：2019年9月20日(金)～11月2日(土)

参加国：20チーム(48試合：うち8試合が東京スタジアムで実施)

東京スタジアム試合日程

日 程		対 戦
9月20日(金)	19:45	日本 vs. ロシア
21日(土)	16:15	フランス vs. アルゼンチン
29日(日)	16:45	オーストラリア vs. ウェールズ
10月5日(土)	17:00	イングランド vs. アルゼンチン
6日(日)	13:45	ニュージーランド vs. アフリカ大陸1位
19日(土)	19:15	準々決勝
20日(日)	19:15	準々決勝
11月1日(金)	18:00	3位決定戦

2 東京 2020 オリンピック競技大会 (第32回オリンピック競技大会)

開催期間：2020年7月24日(金)～8月9日(日)

競技数：33競技

(1) 武蔵野の森総合スポーツプラザ開催競技日程

バドミントン(7月25日～8月3日)

近代五種(フェンシング)(8月6日)

(2) 東京スタジアム開催競技日程

サッカー(7月22日、23日)

ラグビー(7月27日～8月1日)

近代五種(8月7日、8日)

(3) 武蔵野の森公園開催競技日程

自転車競技(ロードレース・スタート)(7月25日、26日)

3 東京 2020 パラリンピック競技大会

開催期間：2020年8月25日(火)～9月6日(日)

競技数：22競技

(1) 武蔵野の森総合スポーツプラザ開催競技日程

車いすバスケットボール(日程未発表)

2018年度 東京2020大会等に関する
三鷹市事業実施方針・事業概要
平成30年(2018年)8月発行

発行：三鷹市

編集：三鷹市スポーツと文化部

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等
推進本部事務局

〒181-8555 三鷹市野崎1-1-1

TEL 0422-45-1151 内線2934

